

平成27年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

実施団体	PLANET(HIVとともに生きる会)	
実施事業名	第23回エイズキャンドルパレード	
団体代表者	小田切 孝子	
事業の目的	HIV/AIDSの啓発活動	
事業の達成度	参加者は若者、医療関係、ボランティア団体、教育関係、一般宗教者等各方面からの参加が見られた。参加者数はほぼ昨年通り。アウトリーチの活動や準備段階から初めて大阪の大学生が関った。商店街のレッドリボンの受け入れはほとんどの店舗で違和感なく受け止めてもらっています。	
事業実績	対象となった人数	90名
	具体的な活動内容	<p>①レッドリボン作成や当日の紙コップに蝋燭を立てるためのセットの準備(蝋燭は立てないが)などを大学生と一緒に活動し、約280個を作成。</p> <p>②袋詰め作業を行うが、パレードに参加する人用のもの(100個)と路上では配布するためのものを(200個)用意した。</p> <p>③アウトリーチの活動は、準備を含め延べ10人で行った。当日のレッドリボン掲示の店舗は80店舗。昨年よりやや少ない到達。掲示忘れがあったように思われる。</p> <p>④当日の参加者は遠方は神奈川県、近畿各県、からの参加があり、学生、医療関係、ボランティア団体、教育関係、一般の参加者があった。約90名。開会式では4人のスピーカーに話をしてもらった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“さぼと京都”のはんきーさんから当事者の声と取り組みの説明。 ・横浜からの参加の伊東さんはカトリック教会からのリーフレットを参持され参加者に提供。このパレードの特徴を訴えられた。 ・日赤の大野さんからは医療現場からの発言とともにエイズフォーラムin京都の紹介をされた。 ・BASE KOBEの繁内さんからは神戸の先進的な取り組みや、当事者と貧困の問題を提示された。短時間であったが貴重な内容に参加者一同学ぶることができた。 <p>⑤パレードは7時からのスタートで、手に紙コップの中の蝋燭に火を灯し、京都の目抜き通りをパレードした。路上では通行人にグッズ(エイズ予防財団のコンドーム、京都市作成のリーフレット、チラシ)を手渡していった(学生担当)。店舗で、レッドリボンを店頭に掲示の協力をさせていただいた所へはマイクを通じて御礼の言葉を伝えている。中には店先でパレードを見送ってくださる店員さんやオーナーがおられた。また、時間の関係で店を閉めていてもシャッターに掲示をいただいている店舗もあった。</p> <p>⑥約1時間半のパレードは円山公園の中に入り、閉会の取り組みを行った。参加者一同の感想を交流した。初参加や毎年参加の方がいるがそれぞれのパレードへの思いやレッドリボンへの感想などを述べられた。次年度のパレードにも参加したい想いを共有できた時間でもあった。</p>

活動の様子

